

第6回山口大学 国際シンポジウム

広島経済大学
プロジェクトセンター長
榎本 伸悦

調査概要

調査者: 日本経団連

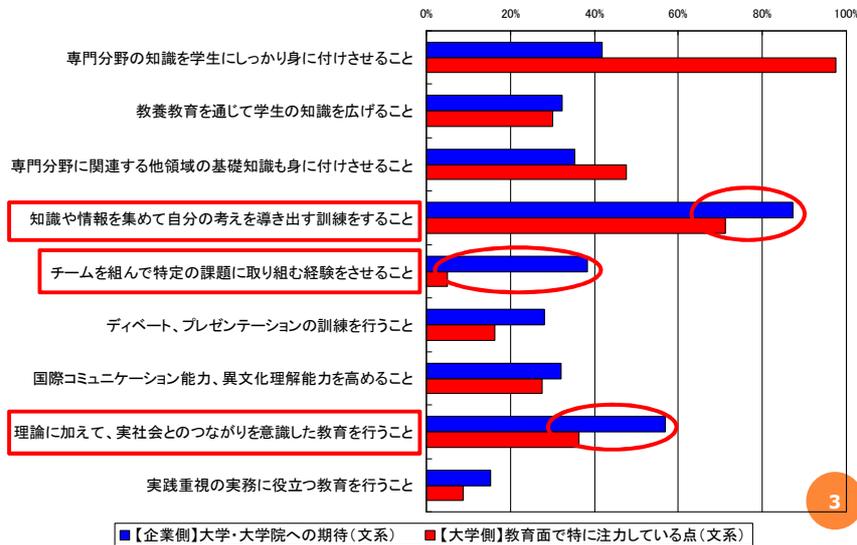
調査方法: 郵送による調査

調査期間: 平成18年10月6日～10月27日

調査対象: ①東証一部上場企業 } 1968社
②中堅・中小企業

有効回答: 684サンプル

企業が求める人物像



ギャップが大きい項目 = 大学が努力すべきこと

- ① チームを組んで特定の課題に取り組む経験をさせること
- ② 理論に加えて、実社会とのつながりを意識した教育を行うこと
- ③ 知識や情報を集めて自分の考えを導き出す訓練をすること

4

～すべては学生のために～
Be Student-oriented

広島経済大学の教育目的

「ゼロから立ち上げる」興動人

既成概念にとらわれることなく、ゼロから何かを立ち上げ、多くの仲間と共に何かを達成する力をもった人

知識 + 人間力 = 興動人
【社会人基礎力】

広島経済大学

興動館教育プログラムの全体像

興動館科目



各フィールドの科目群で実践的に学びそれぞれの力を獲得する。
学んだことをプロジェクトで実践することができる

科目数：30科目3877人
履修者数：約1,000人

興動館プロジェクト



ゼロから何かを達成する経験を通じて力を得る。学びの必要性を感じて興動館科目を履修することができる。

プロジェクト数：17プロジェクト
参加者数：約350人





プロジェクト紹介 概要

- 団体名…広島経済大学 興動館
インドネシア国際貢献プロジェクト
- 発足年月日…2005年11月17日
- プロジェクト人数…3年次生5名、2年次16生名、1年次生2名 計23名
- 受賞歴…①外務省日本インドネシア友好年事業認定
(2008年8月)
②広島ユネスコ活動奨励賞受賞
(2008年10月)



プロジェクト概要

地震復興支援活動
2006年～2007年

MISSION ジャワ島中部地震で被災した人たちを支援する

子ども
支援

学校建設
支援

ビジネス
支援

文化交流活動
2008年～2010年

MISSION インドネシアの仲間たちの笑顔を広げるために命と幸せを守る

教育

スポーツ・
文化交流

ビジネス
活動

背景:2010年10月インドネシア ムラピ山噴火
死者数:340人 避難民:20万人



MISSION

- ムラピ山被災者の心の平和を取り戻す
- ①被災者(子供)を精神的に元気にする
 - ②被災者(大人)の生活を安定させる



対象:ムラピ山仮設住宅の住民
(子供100人、大人300人)






Goal.1 100人の子供を元気にする

(1)スポーツ活動	(2) 平和活動
目標 楽しんで、元気になってもらう	目標 広島ストーリーを伝えることで復興への希望を与える
内容 スポーツ活動	内容 ①人形劇 ②絵 ③ピースフェスティバル

Goal.2:大人20人が経済的に安定した生活を送る

↓

(3) ビジネス活動

目標

- ①20人の被災者に雇用機会を与えて、生活を被災前に近づける
- ②流通のノウハウを知り、マーケティング力をつける

内容

- ①雇用機会
- ②商品の買い付け

平和活動



活動内容

・人形劇



・絵



・Peace Festival





絵 目標



絵を描くことで、明るい将来をイメージする。



活動内容



アートパーティーでの展示・販売



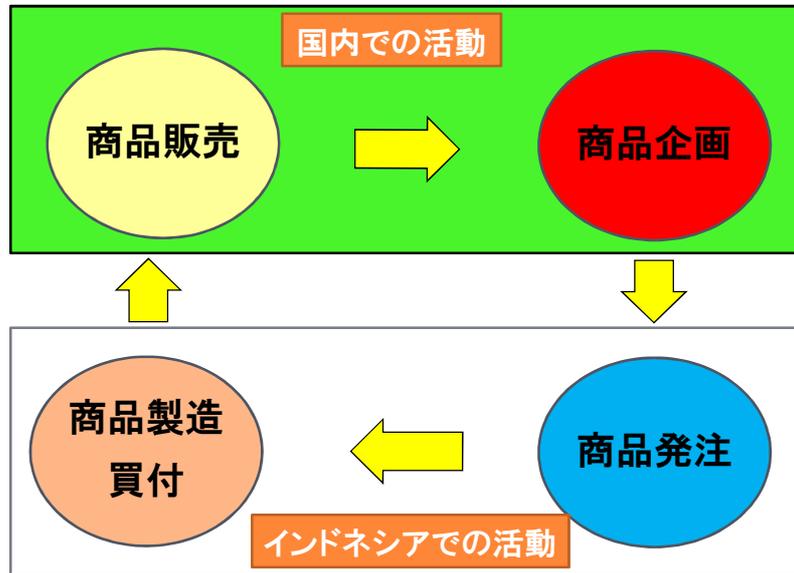
17

ビジネス活動



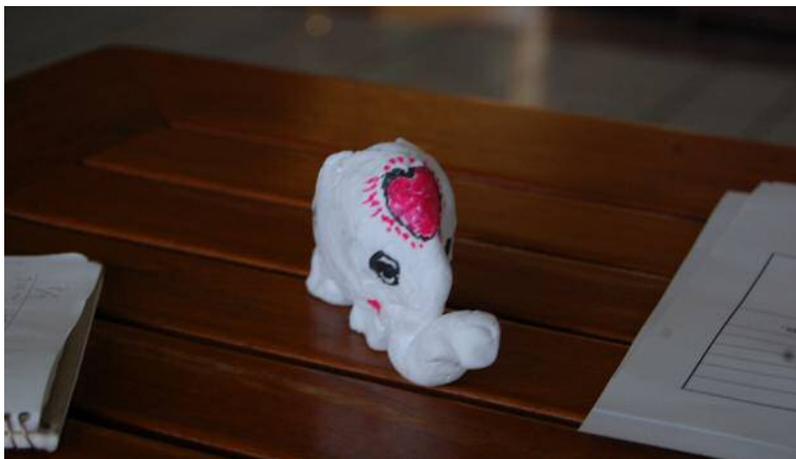
工場の倒壊

ビジネス活動の流れ



商品の企画から販売までの流れ

商品の企画(木彫りの置物のサンプル)



商品の企画から販売までの流れ

工場を訪問・調査



商品の企画から販売までの流れ

商品の交渉・サンプル発注



商品の企画から販売までの流れ

商品受け取り・買い付け



商品の企画から販売までの流れ

商品の輸入



宇品の港の倉庫



インドネシアからの荷物



税関職員の立会い検査



厳しい検査

商品の企画から販売までの流れ

商品の到着



商品が大学に到着



ダンボールを運ぶ学生たち

商品の企画から販売までの流れ

商品を日本で販売



フラワーフェスティバルに出展



販売の様子

開発した商品

お手玉



バック



木彫りの置物



キーケース

～プロジェクト活動の教育効果～



興動館教育プログラムの教育効果＜全般＞



- まず行動することにより、自らが必要な学問に対しての興味が生まれる
- 多人数で活動することによりリーダーシップの意識が育まれる
- ホウレンソウ(報告・連絡・相談)の重要性に自ら気づき、実践される
- PDCAがなぜ必要なのか理解し、その重要性や実務でのやり方が身につく

プロジェクトの教育効果＜国際協力＞



- 海外や外国語に対しての興味が生まれる
- 国際貿易に関するノウハウが身につく
- 問題解決能力が高まる
- 経済活動のへの興味が高まる



ご清聴
ありがとうございました